

平成 29 年 7 月 26 日和泉市立鶴山台北小学校で企業プログラムを活用したおおさか元気広場が開催されました。

保護者が立ち上げ

鶴山台北小学校では 10 年ほど前に保護者の方を中心に放課後子ども教室スマイルキッズを立ち上げられました。手作り教室とミニバスケットボールの二つが主な活動となっています。

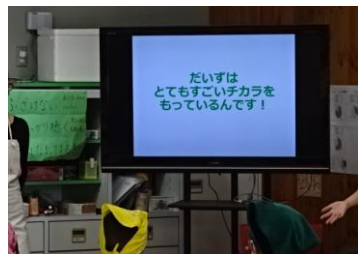
手作り教室は、毎月一回のペースで低学年の取り組みと高学年の取り組みを分けて行うことでより効果的に取り組んでおられます。

今回の参加者は高学年のみで 40 人。今回は参加していませんが、低学年で登録しているのは 37 人。ミニバスケットボールも含めたスマイルキッズ全体としては 108 名が登録しているとのことでした。全校児童は減少しているにも関わらずスマイルキッズへの参加者は年々増加しているとのことでした。

企業プログラムの活用でより豊かな学びに

そして今回は、不二製油グループ本社株式会社と N P O 放課後アフタースクールに来て頂き「大豆のおやつ作り」に取り組みました。

はじめに、世界をとりまく人口問題や食糧問題を D V D を使ってわかりやすく提示しながら、大豆の良さに注目。牛肉（動物性タンパク質）と大豆（植物性タンパク質）それぞれの収穫までに必要なエネルギーを比較。大豆のエネルギー効率の良さを知り、食糧問題の解決のカギとなることに気づきます。また、大豆に含まれる栄養や大豆を使った食品も紹介されていました。



大豆の理解を深めたうえで、豆乳プリンの調理実習に取り組みました。



実習の内容も、パワーポイントを使って提示。



各テーブルで協力して取り組んでいました。



最後は今日の学びを振り返りシートに記入。

○取材を終えて

今回は高学年の取り組みでした。聞いてみると 3 年生の時に国語の授業で説明文「すがたを変える大豆」を学習したとのこと。今回の内容がその説明文と重なっている部分もあり、より学びにつながったのではないかと思います。また、人口問題と食糧問題は、小学生には難しいのではないかなと感じましたが、D V D やクイズで工夫されていたので、子どもたちはよく理解できている様子でした。調理実習といった活動だけでなく、知識も楽しんで身につけることができたようでした。スマイルキッズでは定期的に企業プログラムを活用され、楽しみながら学べるというところに、参加人数増の要因がありそうです。